

高齢者の知恵と技を 子どもの教育に！

河辺小学校では、十一月七日の午前中に敬老参観を実施し、一・二年生は、竹馬・おはじき・お手玉・けん玉など昔の遊びを教えていただきました。三・四年生は、自分たちで学習したことをまとめた詩や作文、わらべ歌の発表を行いました。五・六年生は、しめ縄づくりを教わり、出来上がったしめ縄は各自宅に持ち帰りました。

午後は、六年生が老人クラブの方を講師にお迎えし、クロッケーを教えていただきました。初めにルール説明を聞き、その後、老人クラブの方に交じって試合を行い、初挑戦の競技に悪戦苦闘しながら楽しい時間を過ごしました。

平成十五年十一月一日現在、河辺村の十五歳以下の人口は百二十六人。七十歳以上の人口は四百十四人。学校教育・社会教育の現場では、高齢者と子どもの関わりが非常に重要視されています。高齢者の方の知恵と技を、今の子どもたちに伝えるためにも、このような機会を今後も続けていきたいと思えます。



2003年11月

発行
河辺村公民館
☎ (0893) 39-2111
河辺村ホームページ
<http://www.vill.kawabe.ehime.jp/>
E-mail
info@vill.kawabe.ehime.jp

佐川印刷 KK
大洲市若宮 496
☎ (0893) 24-0771



こうやって作るんだよ



クロッケーのルールは…



しめ縄の作り方は…

雨中決戦 植松分館連覇!

10/12

第三十七回村民運動会
 が、河辺中学校グラウン
 ドにて開催されました。
 入場行進前に突然雨が降
 りだしたために、開始時
 間が二十分程遅れてしま
 い、昨年度のような途中
 中止になってしまいうので
 はないかと心配されるス
 タートとなりました。

二宮運営委員長の開会
 宣言で開会式が始まり、
 植松分館に平成十四年度
 『年間最多勝利賞』の授
 与があり、稲田大会長の
 あいさつ、続いて田中議
 長の温かい激励のことば
 をいただきました。選手
 宣誓では、前回大会優勝
 の植松分館森岡選手のユ
 ニークな宣誓で競技が開
 始されました。

競技中は、雨が降った
 り止んだりと目まぐるし
 く天候が変化しました
 が、選手の皆さんは熱い
 戦いを繰り広げました。
 最後の綱引きで、どの
 分館にも優勝の可能性が
 あるという接戦になり、
 綱引きで勝った植松分館
 が連覇を果たしました。
 各分館役員、選手の皆
 さんお疲れさまでした。



いいものはいつてるかな?



うまく転がらない



運動会のスタートです



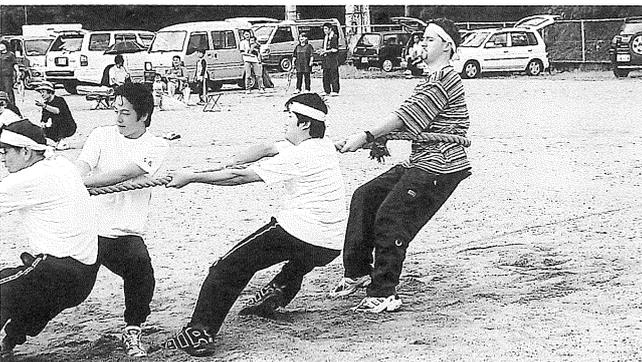
年代別リレーススタート!



みんなで河辺音頭



お化粧中です



逆転優勝目指して



激しい雨の中で

輝き続ける笑顔

守り続ける人権

— 第十回 河辺人権のつどい —

10/29

今年で十回目となる『河辺人権のつどい』が、河辺中学校体育館を全体会場に開催され、『輝き続ける笑顔 守り続ける人権』の大会スローガンのもと、村内より人権尊重の村づくりを目指す二〇〇名を超える皆さんが一堂に集いました。

午前中は、小・中学校それぞれで、人権・同和教育の視点に立った公開授業、懇談会、集会活動などが行われました。参加された皆さんは、身近な人権問題について再認識することができたのではないのでしょうか。また、子どもたちが学校で取り組んでいる人権・同和教育についても触れることができたと思います。

午後からの全体会では、児童・生徒の意見発表、人権標語発表が行われ、私たちが生まれながらにして持っている権利や現代人が失いかけていく優しさについて改めて考える機会を得ることができました。

引き続き、県内各地で人形劇を通して人権尊重のメッセージを送っておられ、平成八年度にも来ていただいた『人形芝居ぶか』さんによる人権劇『ほっかむりひょう六』が上演されました。

人権劇では、ただ見るだけでなく有志六名も参加して行われ、上演された人権劇に秘められている真意が会場にいられた皆さんの心により深く伝わったのではないのでしょうか。

今回の人権のつどいに参加された皆さんが受けた感動を、これからの生活の中で少しでも生かすことができれば、人権尊重の村づくりがより一層加速していくことになるでしょう。そして、社会や家庭内、学校にあるちよっとした人権問題に気づくきっかけになればと思います。



中学校での懇談会



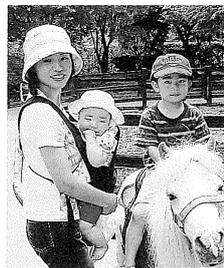
人権標語発表



「ほっかむりひょう六」のワンシーン

やねぼし通信

ふるさとに望む



子どもと共に動物園にて...

松山市湯の山
古田口美智子(旧姓谷本)
(赤ヶ滝上出身)

「木のトンネルみたいだね。」
脇川から河辺に向かう狭い道を、対向車が来ませんようにとひたすら願いながら運転していると、息子がふいにそう言った。運転の未熟な私にとってこの道はつらく厳しいものだったが、その一言で今までは違うどこか優しい気持ちでこの道を走るようになった。

現在二児の母となり松山で暮らしている私は、我が子と自分の幼少時代を重ね合わせ、ふるさと河辺を思い出し話題にすることが多くなった。子育てを通して河辺の良さを再発見することもある。

先日久しぶりに家族そろって帰省した際、ふるさととの宿や屋根付橋の名所、思い出の場所を実際に案内した。「本当にここを歩いて学校に行っていたの!」細く険しい学校への近道を見て驚く息子。今は誰も利用する人はいないようで荒れ果てている。豊かな自然や人の温もりが残る一方で過疎化の現状も目の当たりにし、懐かしさと寂しさが入り混じってしまった。しかし、いつの間にか草木を相手に想像の世界を膨らませ生き生きと遊んでいる子どもたちの姿を見ると、ここでもしか得られないものがあるとも思った。そんな物思いにふけっている間に主人も子どもたちに加わりふるさと公園の滑り台に挑戦していた。登りも下りもきつかったようだが、頂上から見た景色は最高だったと今でも話している。そして何より「いいところだね。」と言われ嬉しかった。また帰ろう、あの木のトンネルを抜けて...

晴天の中、健康・文化フェスティバル

10/19



自慢の農林産物です

フルートのハーモニを満喫するこ
とができました。
その他にも、婦人会によるバザーや健康クイズ、青空市、農
林物産展、園児・児童・生徒・一般の方の作品展、景品付もち
まきなどがあり、楽しい秋の一日となりました。
なお、農林産物品評会での主な入賞者は次の方々です。おめ
でようございます。

- | | | | |
|----------------|--------|-------|----|
| 河辺村長賞 | 栗 | 往見 | 守 |
| 脇川地区林材業振興会議会長賞 | 生しいたけ | 二宮 | 平八 |
| 河辺村議会議長賞 | ゆず | 宮岡 | 末光 |
| 河辺村森林組合長賞 | 乾しいたけ | 片山 | 友江 |
| 川上商工会長賞 | こんにゃく芋 | 帽子美代子 | |
| 愛媛たいき農協河辺支所長賞 | 白菜 | 菊地 | 稔 |

公民館、老人福祉セン
ターを会場として『健
康・文化フェスティバ
ル』が開催されました。
当日は、四年ぶりの晴
天に恵まれたうえ、大勢
の方にご来場いただき盛
大に行うことができました。

文化協会発表会では、
自慢ののどだけでなく舞
踊も披露していただきま
した。

午後からは、カザルス
合奏団のコンサートがあ
り、普段聞くことのでき
ないピアノ・チェロ・ヴ
ァイオリン・ヴィオラ・



こっちになげて～



クラシックを満喫

スポレク地方大会

10/5

愛媛スポー
ツ・レクリエー
ション祭二〇〇
三八幡浜地方大
会が、八幡浜市
をメイン会場と
して開催されま
した。

河辺からは、
喜多郡大会で準
優勝したバドミ
ントン男子一チ
ームと、クロッ
ケー二チームの
計三チームが出場しまし
た。

バドミントンは、初戦で
野村チームを、二回戦では
大洲Bチームを破り、準決
勝に駒を進めました。準決
勝では、保内チームに惜し
くも敗れてしまいました
が、四位という好成績を残
すことができました。

クロッケーは、二チーム
ともに、予選リーグ一勝一
敗の成績で、残念ながら決
勝トーナメントに進むこと
ができませんでした。
参加された選手の皆さ
ん、大変お疲れさまでした。
来年度は、今年度の三チー
ムより一チームでも多く地
方大会に出場できるように
期待しております。

分館対抗レクバレーで熱戦

11/16

東京・大阪などの十二都
市、十四体育館で熱戦が繰り
広げられているワールドカッ
プバレー。それに負けないく
らいの熱戦が、河辺中学校体
育館で繰り広げられました。

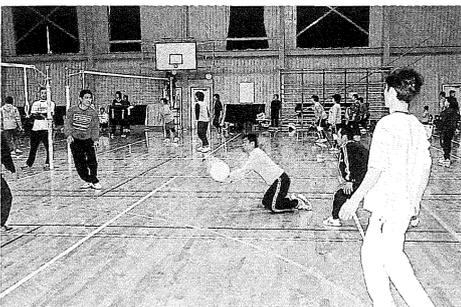
飛び出したりと、歓声と笑い
声の絶えない一日となりまし
た。
ご協力いただきました各分
館役員、選手の皆さんお疲れ
さまでした。
結果は次のとおりです。

今回の大会より、男女とも
にフリーの部・三十五歳以上
の部でそれぞれ優勝が争われ
ました。当初この大会は六月
開催の予定でしたが、諸事情
により十一月の開催になりま
した。そのため、選手の都合
がどうしてもつかず、十五チ
ームでの大会となりました。
どの試合もW杯のような好
プレーが飛び出したり、日頃
の運動不足のために周りを爆
笑の渦に巻き込む珍プレーが

- | | | |
|----|------|--------|
| 男子 | フリー | 三十五歳以上 |
| 一位 | 植松分館 | 坂本分館 |
| 二位 | 坂本分館 | 植松分館 |
| 三位 | 北平分館 | 北平分館 |
| 四位 | 大伍分館 | 大伍分館 |
| 女子 | フリー | 三十五歳以上 |
| 一位 | 植松分館 | 大伍分館 |
| 二位 | 坂本分館 | 植松分館 |
| 三位 | 北平分館 | 坂本分館 |
| 四位 | 大伍分館 | 坂本分館 |



ソーレ!



ナイスレシーブ!

新人総体を終えて

十月一日、内子・五十崎を会場に喜多郡中学校新人総合体育大会が行われました。

男子ソフトテニスの部では、部員が五名なので、団体戦に二ペアが出場しました。一回戦、内子中と対戦しましたが一ペア少ないこともあり、負けてしまいました。個人戦でも、二ペアが出場しましたが惜しくも一回戦で敗退しました。また、バレーボールの部においても、七名という少ない部員で、肱川中・内子中と対戦しました。結果は、

セットカウント〇対二で敗退しました。二試合ともに、競り合う場面も見られましたが、初めての公式戦というこどももあり、緊張から、あと一歩が踏ん張れませんでした。この経験を生かし、来年の総体に向けて、基礎から出直しています。



それ！アタックだ！

日々の活動にご支援いただいた皆様や大会当日、ご多忙中にもかかわらず、熱心に応援していただいた保護者・地域の皆様、心より感謝いたします。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



緊張のデビュー戦

喜多郡へき地・小規模校 教育研究会開催

11/4

河辺小学校を会場として、「へき地・小規模校の特性を生かした創意ある学校づくりと学習指導の充実」を研究主題に、喜多郡へき地・小規模校教育研究会が開催されました。

当日は、八幡浜教育事務所の小泉先生を講師としてお招きし、郡内より多くの先生方に参加していただきました。まず、五年生の焦点授業が行われ



ました。二人の教師が指導を行うT・Tによる算数の授業です。長方形の面積の求め方と結びつけて、直角三角形や平行四辺形の面積の求め方を考えるという内容でした。子どもたちは、緊張感の中にも、いつものように真剣に、目を輝かせながら取り組んでいました。

次に、研究協議を行いました。授業研究後、各校の特色ある教育活動が紹介されました。少人数



であることを生かし、一人一人にきめ細かい指導を行う工夫、地域の自然や人材を生かした活動の推進など、どれもへき地・小規模校ならではの取り組みでした。

とみなが 富永 眞拓ちゃん (出合)



元気モリモリでヨロシク!! (父母より)

たにだ 谷田 倭美ちゃん (稲谷)



ハラハラ、ドキドキの毎日だけど、これからも元気一杯たくさんの伝説を作ってネ!! (父母より)

河辺村の宝物

はじめてのバースデイ

ひるの 古野 響ちゃん (植松)



これからもたくさんイタズラするぞー。 (父母より)

「えひめ家族賞」受賞

「えひめ家族賞」授賞式が十月二十四日に愛媛県庁で行われ、日除の松下ヨミエさん(百一歳)が受賞されました。この賞は、三世代の夫婦が連れ添い助け合う家族。長寿者とともに支え合う家族。のいずれかに該当する県内在住家族が表彰対象です。これからも、みなさん元気で仲睦まじくお過ごし下さい。受賞おめでとうござい



おめでとうございます

役員紹介

☆教育委員会

- 委員長 玉井 隆
- 職務代理 松本 意思男
- 委員 梅木 幸男
- 委員 本田 八千代

川上陸上大会

十月九日、さわやかな秋晴れのもと、肱川町民グラウンドにおいて川上地区小学校陸上競技大会が行われました。清流肱川のせせらぎと小鳥のさえずりの中での一瞬の静寂。スタートの合図とともにわき上がる子どもたちの喚声。全力で競技に取り組む子どもたちの姿が、とても感動的な一日でした。

もちろん河辺小学校の子どもたちも頑張っていました。緊張した面持ちで招集テント下に腰を下ろし、ふと辺りを見ると、自分と同じ面持ちで居る同じ年頃の友達。「なん

か緊張するなあ。」「そうじゃなあ、緊張するなあ。」そんな会話から始まり、新しい友達ができたり子どももいるでしょう。全力を出し切り、自己ベストを出すことが目標の子。さらに全力を出し切ることで、上位入賞し郡大会出場を目指す子。それぞれが、それぞれの目標を持って挑んだ陸上大会。

今年度は男子十三名、女子八名、三年生以上の児童が参加しました。そして、男子・女子四百メートルリレーを初めとする十二種目で、郡陸上大会への参加資格を得ました。

放課後練習に参加し、河辺小学校の代表として、大会に参加した児童。今年度は選手になれなかつたけれども、来

年のためにと選手と一緒に練習に参加したり練習の手伝いをしたりしてくれた児童。今回の川上陸上大会を通して、子どもたち自身それぞれが努力、忍耐、友情などについて学んだことと思います。



入賞おめでとう!

農業委員交流会 連覇

10/10

大洲喜多地区農業委員会の交流大会(ミニバレーボール)が肱川町で開催され、河辺村農業委員会が昨年に続き優勝しました。

Aブロックには、河辺村・肱川町・大洲市、Bブロックには五十崎町・内子町・長浜町の組み合わせになりました。

肱川町戦はセット二対〇、大洲市戦では二対一で決勝に勝ち上がりました。

決勝戦は、昨年と同じ顔合わせの五十崎町との決戦になりましたが、余裕のゲーム展開で二対〇の快勝で連覇を達成いたしました。

河辺村農業委員会のチームワークとヤングパワーが、勝因だったように思います。

「河辺村農業委員会、ここにあり」を誇示した大会でした。



祝! 連覇

非常招集

十一月二日に消防団による防火パレード及び非常招集訓練が行われました。

今年、八月一日に六名の女性消防団員が誕生し、初めて、消防団の行事に参加いただきました。今後も、広報活動並びに防災活動を行って参ります。

当日は、あいにくの雨のため、河辺中学校体育館で訓練儀式並びに普通救命講習を行いました。

各団員におかれましては、熱心に受講して頂き、人工呼吸法をマスターすべく、取り組みました。

今日、本村でも少子高齢化が進み、地域に若者が少なくなる中、団員の確保が困難になってきておりますが、消防団員各位には、日ごろ多忙にもかかわらず、嵩高な郷土愛護の精神と旺盛な責任感を持って、地域住民の生命財産を守るため、献身的に消防業務に精励されており、村民一同、心強い限りでありまして、このご苦労に対し心から敬意と感謝を申し上げます。

また、消防団の活動を支える後援会のご支援も、大きな励みになっていることも、忘れてはならないでしょう。



女性消防団員も頑張ります



人工呼吸法をマスター

今後、女性消防団員も加わってもらいましたので、消防団のイメージアップにもつながり、地域の活性化にも期待されますので、消防団活動に温かいご支援をお願いします。これからのシーズンは、火事が多くなりますので、防火意識を高め、安心して暮らせるように気を付けていきたいものです。

オレオレ詐欺に要注意！！

最近、県内で「オレオレ詐欺」の被害が発生しています。

「オレオレ詐欺」とは、お年寄りに対して「オレ、オレ、オレだよ」等とあたかも子どもか孫であるかのように装い、

○交通事故を
起こしてお金がある

○保証人になって
しまいお金がある

ので 振り込んで
欲しい。

等と電話をかけてお金を騙しとる手口です。

電話でお金の要求等があっても、すぐに返事をせず、相手の確認を十分にして下さい。

また、お金を渡さないようにして下さい。

被害に遭われた方は、警察にご相談下さい。

戸籍事務電算化に伴う 文字の確認について

河辺村では、平成15年12月22日をめぐりに戸籍のコンピュータ化を進めています。

戸籍の文字は、常用漢字、人名用漢字及びその他国民一般に通用する文字で記載することになっています。

皆様の戸籍をコンピュータに登録するにあたり、誤字で記載されている文字について、正しい文字で記載するようになります。

また、正しい文字が判断できない文字については、皆様に確認のため文書で照会しますので、ご協力をお願いします。

この取扱いは、戸籍の表記上の取扱いであって、これによって氏又は名が変更されるものではありませんので、印鑑登録されている印鑑等の変更は不要です。

【問い合わせ先】 役場 住民課 戸籍係

【問い合わせ先】

・利用者（要介護者・要支援者）以外の者の洗濯・調理、買物、布干し・主として利用者が使用する居室等以外の掃除・来客の応接（お茶、食事の手配等）
・自家用車の洗車、清掃・草むしり、花木の水やり・ペットの世話・家具、電気器具等の移動、修繕、模様替え・大そうじ、窓のガラスみがき、床のワックスがけ・室内外家屋の修理、ペンキぬり・植木の剪定などの園芸・正月、節句等のために特別な手間をかけておこなう調理

役場福祉課



こんにちは 保健師です

～ ほほえみは回復薬！ ～

『心の健康づくり講演会のご案内』

～あなたの「こころ」、お元気ですか？～

ストレスの多い今、「こころ」だって風邪をひきます。誰にもありえる「こころの病気」について、そして、こころに病気を持っていても生き生きと地域の中で暮らせる方法を一緒に考えてみませんか？

と き／H15年12月12日（金）午後1時30分より（開場 午後1時）

ところ／大洲市総合福祉センター4F

テーマ／「知ってほしい、心の健康」

講 師／公立周桑病院精神科 殿山 勇二 先生

と き／H16年1月21日（水）午後1時30分より（開場 午後1時）

ところ／大洲市役所2F大ホール

テーマ／「中高年のうつについて」

講 師／松多クリニック院長 松多 克紀 先生

* 入場無料・参加自由

主 催：大洲保健所

協力機関：・大洲喜多家族会 ・神山共同作業所

・精神保健ボランティアあゆみ ・平成病院

・愛媛県精神保健福祉センター ・大洲市

・大洲市社会福祉協議会

どうぞお気軽にご参加下さい。

問い合わせ先／大洲保健所 TEL 0893-24-3165

介護の窓

介護保険サービスのなかで、もっともよく利用されているのが「訪問介護」です。訪問介護は、ホームヘルパーが家庭のなかにはいつて家事援助や身体介護を行うものですが、サービスの内容はきめられていて、家族の分までできません。

訪問介護でおこなわれる ホームヘルパーの仕事

身体介護に関すること
・食事の介助・排せつの介

助・衣類着脱の介助・入浴の介助・身体の清拭、洗髪・通院などの介助・そのほか必要な身体介助など
家事に関すること
・調理・衣類の洗濯、補修・住居などの掃除、整理整頓・生活必需品の買物・関係機関等との連絡・その他必要な家事など

相談、助言に関すること

・生活、身上、介護に関する相談、助言・住宅改修に関する相談、助言・その他必要な相談、助言など

介護保険でできない家事

・利用者（要介護者・要支援者）以外の者の洗濯・調理、買物、布干し・主として利用者が使用する居室等以外の掃除・来客の応接（お茶、食事の手配等）
・自家用車の洗車、清掃・草むしり、花木の水やり・ペットの世話・家具、電気器具等の移動、修繕、模様替え・大そうじ、窓のガラスみがき、床のワックスがけ・室内外家屋の修理、ペンキぬり・植木の剪定などの園芸・正月、節句等のために特別な手間をかけておこなう調理

イベントのご案内

「エイズフォーラム」、
「世界のエイズポスター展」

1 開催目的：エイズボランティアと協力して、県民（特に青少年）に対しエイズに関する正しい知識等の啓発を行うことにより、エイズ患者・HIV感染者に対する誤解、偏見、差別の解消及び感染の防止を図る。

2 主催：愛媛県

3 イベントの内容

(1) エイズフォーラム

①開催日時：平成15年12月6日(土) 14：00～16：00

②開催場所：いよてつ高島屋9Fローズホール（松山市湊町5-1-1）

③プログラム

○専門家によるエイズ予防講演会

講師：村竹 勝司（NHKアナウンサー）

演題「わたしにとってのAIDS」（予定）

○高校生・専門学校生によるエイズ予防活動発表会

参加校（予定）伊予三島看護専門学校、松精看護専門学校、松山東高等学校、愛媛大学附属農業高等学校、新居浜南高等学校

○シンポジウム「みんなで話そう、AIDSのこと」

コーディネーター 五島真理為（HIVと人権・情報センター理事長）

シンポジスト 村竹 勝司（NHKアナウンサー）

木戸しのぶ（HIVと人権・情報センター四国支部ボランティア）

高田 剣（愛媛新聞記者）

エイズ活動発表会に参加した高校生・専門学校生

○「ピアノ演奏」 演奏：スキップ・スワンソン

○「共生のワークショップ」

(2) 世界のエイズポスター展

①開催期間、開催時間 平成15年12月3日(水)～12月7日(日) 10：00～19：00

②開催場所 いよてつ高島屋8Fスカイドーム（松山市湊町5-1-1）

③事業内容 ○世界のエイズ啓発ポスターの展示

○メモリアルキルトの展示

○故赤瀬範保氏の書展示

○その他：リーフレット配布、ボランティアスタッフによる情報提供

大洲保健所からのお知らせ

12月1日から7日までの「愛媛エイズ予防週間」中、夜間電話相談・血液検査（無料・匿名）を行いますので、ご利用下さい。（ただし、血液検査は事前に電話予約が必要です。）

○実施期間 12月1日(月)、2日(火)、3日(水)

○時間 17：00～20：00

○場所 大洲保健所

（大洲市田口甲425の1 大洲庁舎2階）

○電話番号 24-3165

また、毎週火曜日（11：00～12：00）にエイズ相談・検査をしていますので、ご利用下さい。（予約制・無料・匿名）

じん肺の所見がある方に発生した肺がんの労災補償について

じん肺の所見がある方（じん肺管理区分が管理2、管理3又は管理4と決定された方）に発生した原発性肺がんについては、これまで、管理3又は管理4の方が労災補償の対象となっていました。平成14年11月11日以降は、管理2の方も対象となりました。

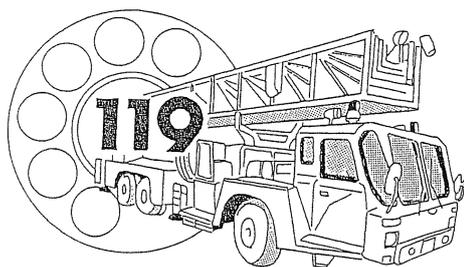
じん肺の所見がある方に発生した肺がんに関する労災補償制度や手続きについての詳細は、愛媛労働局又は下記労働基準監督署へお問い合わせ下さい。

愛媛労働局労働基準部労災補償課

☎089-935-5200

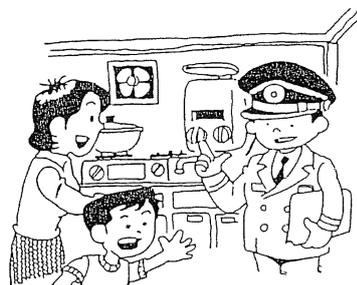
八幡浜労働基準監督署

☎0894-22-1750



「その油断 火から炎へ 災いへ」

十一月九日から十一月十五日までの一週間「その油断 火から炎へ 災いへ」を統一標語に全国一斉に秋の火災予防運動が行われました。川上支署においても、火災予防を図るためこの期間中に高齢者宅や一般住宅の防火診断及び防火対象物の立入検査などを行いました。皆さんのご理解とご協力ありがとうございました。



これからの季節は、暖房器具などの火を取り扱う機会が多くなるため、火災が起こりやすくなります。皆さんの家庭や職場から火災を起こさないため、暖房器具やガスコンロなどに異常はないか、使用方法は間違っていないか、消火の備えは万全かなど、家庭や職場内の防火のチェックをしてみましょう。

秋の火災予防運動実施！



川上支署

119番です

インフォメーション

12月	1月
	1
健康相談	2
	3
乳幼児健診	4
	5
	6 健康相談
	7
	8 幼・小・中始業式
	9
心配ごと相談・行政相談	10
	11 新春マラソン大会
	12
	13 心配ごと相談・行政相談
	14
	15
健康相談	16
	17
	18
	19
	20 健康相談
	21
	22
	23
	24
幼・小・中終業式	25
	26
	27
	28
	29
	30
	31
	未定
村議会定例会	

人権教育シリーズ

(102)

「病院で、見聞した 3つの事例から」

どこの病院でも初診時には、問診表が求められます。高度の医療を効率よく的確にするため、患者は当然のことですがありのまま記入しなければなりません。私も数年前比較的大きな病院で、問診表の記入をもとめられ、現在の健康状態、既往症、病歴、家族の健康状態：など書き、裏面に入って、現在住んでおられるのは、自宅・アパート、借家等の質問事項があったのです。私は記入しながら、病気の治療

とどういう関係があるの？何の目的？...と疑問を感じたのです。ちなみに看護師さんに、「これは、どうなんですかね...」とやさしく問うてみると、「いままでも誰も指摘しなかった」「いままでもそうしてきたので」「用紙がそうなっているの...」の回答でした。

ところが、過日の新聞「門」欄に、滋賀県の読者が、「診療を受ける際になぜ学歴問う」と題して、なぜ患者本人の最終学歴を問うのか：「生命のために人権より優先させなければならぬ医療上のきちんとした理由を説明してほしい」とも書いてありました。

また、最近、知人が入院して、病室を見舞ったとき、同室の高齢者に接する看護師さんの言葉遣いが気になりました。「はいはい、お口あけて」「しんどくなーい」「お熱測ろうか。まっててね」など幼児語のような言い方が気になります。患者さん自身が「優しさ」として受け入れられる場合もありますが、弱者への偏見になったり、負い目を感じさせたりしないかと思われました。体の不自由な高齢者は、見かけは幼児に近い介護が必要でも、大人としてのプライドがあり、基本的には大人の患者への対応が必要ではないかと感じました。

短

歌

幾年月共に歩みて金婚式

今立ち止まりふり返りみる

誰がゆえに優しく咲きコスモスの

香りゆかしく友の住む里

朝日受けまぶしきほどに色つきし

ピラカン眺め栗の皮むく

荒れし田にせいたかあわたち黄に咲きて

秋陽に谷間はなやぎて見ゆ

こぞの秋天に召されしたらちねの

母のみ姿いまだ忘れじ

はなれ住む子供ら想う親心

今も昔も変らざりしや

千秋の思いで待ちし内孫の

生れるらしと夫ははしやぎぬ

大野伊都子

大野 勇

高橋フミエ

上林ヨシ子

藤原 茜

玉井 隆

玉井 縁

消息

自 15・9・11
至 15・11・10

☆お誕生おめでとう

石井 匠たくみ (横山中) 父 秋彦 母 幸子

☆おくやみ申し上げます

松井萬壽雄 (坂本) 90歳 大森 満 (百合谷) 66歳



人のうごき

(平成15年11月1日現在)

世帯数 530戸
男子 640人
女子 671人
計 1,311人

H14.11.1 現 1,340 (△ 29)
H13.11.1 現 1,366 (△ 55)
H12.11.1 現 1,366 (△ 55)
H11.11.1 現 1,385 (△ 74)
H10.11.1 現 1,403 (△ 92)

井上 武志 (中大成)
石田 優子 (長浜町)

三坂 幸子 (福岡県)